



拓北・あいの里地区社協ミニ通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会
会長 見野 光

この広報紙は赤い羽根共同募金の支援を受けています

No 64

令和3年 12月 20日

11月10日(水)と12月8日(水)に社協常任理事会が行われました。各部の活動状況と今後の予定についてご報告します。



新型コロナウイルスの新しい変異種、オミクロン株に注意しましょう！

■ 総務部より ■

・見守り活動の今後について

令和2年度の見守り活動アンケート回答の33町内会中、見守りが必要との回答は29町内会で90%を超えており、連町・民児協・社協三者で取組の拡大について検討を始めました。見守りを行っていない15の町内会で必要としている支援、行っている18の町内会で困っていることで共通しているのが**活動者の問題（募集方法、不足）と対象者の把握**でした。そのためには見守り体制作りから65歳以上世帯名簿研修という活動の流れの周知があらためて必要という合意に至りました。

今後、三者でその周知と早目の65歳以上世帯名簿研修開催について検討を続けます。

・札幌市北区役所ホームページから拓北・あいの里まちづくりセンターへ進んで行くと、地区社協の紹介の中に第60号からのミニ通信が貼り付けられています。ご覧になって下さい。

・電話福祉相談を、毎週月・水・金曜日（祝祭日以外）の10時から12時まで受け付けています。

■ ふれあい交流部より ■

12月9日(木)午前10時から11時30分まで、拓北・あいの里地区センター多目的ホールで、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、**2年ぶりにひまわりクラブのクリスマスを開催**しました。11組24名の親子さんと札幌協働福祉会さんから8名、スタッフ、ボランティアを含めて総勢56名が参加し、盛況でした。

北区の保健師さんにも参加していただき、身体測定、健康相談を併せて行いました。

次回のひまわりクラブは、1月13日(木)午前10時から地区センター和室にて開催予定です。

なお、高齢者対象の福まちサロンは今年度行いません。



みんなで大きなカブをドッコイショ！



サンタクロースが子どもたちにプレゼント

■ 地域ケア部より ■

11月例会は、16日(火)18:30-20:00、終活シリーズ第二回「両親の老いと転居：我が家で介護できない」をテーマに、原田純礼（介護老人福祉施設白ゆりあいの里）さんをゲストに行いました。参加者は14名。あいの里の近くの戸建て住宅で暮らしていた70代の両親、母親がアルツハイマー型認知症の症状が見られたが、父親の重篤な病気が発覚したのを契機に、家族会議でじっくり話し合い、両親がサービス付き高齢者向け住宅（訪問介護事業所併設）に転居し、子どもの原田さん夫妻が両親の元の家に住居することになった経緯についての話がありました。子どもたちと両親の思いのすり合わせの大変さが、実体験から滲み出ていました。

12月例会は21日(火)18:30-20:00に終活シリーズ第三回「民生委員の現場レポート：近所でこんなことが起きている」を、年明けの1月例会は18日(火)18:30-20:00に「あれから27年、神戸の500日：私が民生委員になったワケ」をテーマに開催予定です。

地域ケア部部員、ケア施設町内会会員にはメールリストでZoomアクセス情報をお知らせします。その他の方はケア施設町内会事務局・長谷川までメール hasepy55@gmail.com でお問合せ下さい。

■ ボランティア企画部より ■

・困りごとがあった時、どこに、誰に相談したらよいか、相談窓口の情報を、繰り返し発信したい。掲載する情報として、介護、認知症、高齢者施設・住宅、障がい者施設、警察、消防、生活、子育て、食生活、緊急事態、緊急相談など、今後検討を重ね、見やすく、わかりやすいものをめざします。